【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成27年2月19日(2015.2.19)

【公表番号】特表2014-510395(P2014-510395A)
【公表日】平成26年4月24日(2014.4.24)
【年通号数】公開・登録公報2014-021
【出願番号】特願2013-552537(P2013-552537)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｋ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｋ　9/00　Ｖ

【手続補正書】
【提出日】平成26年12月25日(2014.12.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７５】
【表２】

表２－タッチセンサー要素の実施例の目視検査結果

実施例	星形スコア	虹スコア	色つきハロスコア
比較例６	⊗	⊗	⊕
7	⊕	⊕	⊕

本発明の実施態様の一部を以下の項目［１］－［１６］に記載する。
［１］
対向する第１の表面と第２の表面とを有する基材と、
前記基材の前記第１の表面に配置された導電体微小パターンであって、複数のセルを画定する複数のトレースを含む導電体微小パターンである、導電体微小パターンと、を備え、
前記導電体微小パターンが、８０％を超える開放面積分率及びトレースの一様な配向分布を有し、
前記トレースのそれぞれが非直線であり、０．５～１０マイクロメートルのトレース幅を有する、物品。
［２］
前記導電体微小パターンのトレースが、１センチメートル未満の曲率半径を有する、項目１に記載の物品。
［３］
前記トレースのそれぞれが、１～３マイクロメートルのトレース幅を有する、項目１に記載の物品。
［４］
前記微小パターンのトレースの前記一様な配向分布が、４未満の、２度ピン当たりの測定周波数の標準偏差を有する、項目１に記載の物品。
［５］

前記微小パターンのトレースの前記一様な配向分布が、１未満の、２度ピン当たりの測定周波数の標準偏差を有する、項目１に記載の物品。
［６］
前記トレースが、金、銀、パラジウム、プラチナ、アルミニウム、銅、モリブデン、ニッケル、スズ、タングステン、及びこれらの合金、組み合わせからなる群から選択される材料を含む、項目１に記載の物品。
［７］
前記導電体微小パターンが非反復性セル形状を有する、項目１に記載の物品。
［８］
前記導電体微小パターンが、反復性セル形状を有し、前記セルが６辺を備える、項目１に記載の物品。
［９］
前記導電体微小パターンが、非反復性セル形状を有し、前記セルが４辺を備える、項目１に記載の物品。
［１０］
前記導電体微小パターンが、反復する配列の位置上にないセルを有する、項目１に記載の物品。
［１１］
トレースが、垂直入射にて、及び前記基材の前記第１の表面に向かう配向において又は前記基材の前記第１の表面から離れる配向において、２０％未満の正反射率を有する、項目１に記載の物品。
［１２］
前記トレースが、垂直入射にて、及び前記基材の前記第１の表面に向かう配向において又は前記基材の前記第１の表面から離れる配向において、１０％未満の正反射率を有する、項目１に記載の物品。
［１３］
前記基材が可視光透明性であり、ガラス及びプラスチックからなる群から選択される、項目１に記載の物品。
［１４］
前記基材の前記第２の表面に配置された第２の導電体微小パターンであって、複数のセルを画定する複数のトレースを備える、第２の導電体微小パターンを更に備え、
前記第２の導電体微小パターンが、８０％を超える開放面積分率及びトレースの一様な配向分布を有し、
前記トレースのそれぞれが非直線であり、０．５～１０マイクロメートルのトレース幅を有する、項目１に記載の物品。
［１５］
それぞれの基材が対向する第１の表面と第２の表面とを有する、第１及び第２の基材と、
前記第１及び第２の基材のそれぞれの第１の表面に配置された導電体微小パターンであって、両方の導電体微小パターンが複数の開放面積のセルを画定する複数のトレースを含む、導電体微小パターンとを備え、
前記導電体微小パターンが、８０％を超える開放面積分率及びトレースの一様な配向分布を有し、
前記トレースのそれぞれが非直線であり、０．５～１０マイクロメートルのトレース幅を有し、
前記第１及び第２の基材の導電体微小パターンが互いに電気的に絶縁されている、タッチスクリーンセンサー。
［１６］
前記第１の基材と前記第２の基材との間に配置された光学的に透明な接着剤を更に備え、前記光学的に透明な接着剤が前記第１の基材の前記導電体微小パターン及び前記第２の

基材の前記第２の表面と直接接触する、項目１５に記載のタッチスクリーンセンサー。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対向する第１の表面と第２の表面とを有する基材と、
前記基材の前記第１の表面に配置された導電体微小パターンであって、複数のセルを画定する複数のトレースを含む導電体微小パターンである、導電体微小パターンと、を備え、
前記導電体微小パターンが、８０％を超える開放面積分率及びトレースの一様な配向分布を有し、
前記トレースのそれぞれが非直線であり、０．５～１０マイクロメートルのトレース幅を有する、物品。
【請求項２】
前記微小パターンのトレースの前記一様な配向分布が、４未満の、２度ピン当たりの測定周波数の標準偏差を有する、請求項１に記載の物品。
【請求項３】
前記基材の前記第２の表面に配置された第２の導電体微小パターンであって、複数のセルを画定する複数のトレースを備える、第２の導電体微小パターンを更に備え、
前記第２の導電体微小パターンが、８０％を超える開放面積分率及びトレースの一様な配向分布を有し、
前記トレースのそれぞれが非直線であり、０．５～１０マイクロメートルのトレース幅を有する、請求項１に記載の物品。
【請求項４】
それぞれの基材が対向する第１の表面と第２の表面とを有する、第１及び第２の基材と、
前記第１及び第２の基材のそれぞれの第１の表面に配置された導電体微小パターンであって、両方の導電体微小パターンが複数の開放面積のセルを画定する複数のトレースを含む、導電体微小パターンとを備え、
前記導電体微小パターンが、８０％を超える開放面積分率及びトレースの一様な配向分布を有し、
前記トレースのそれぞれが非直線であり、０．５～１０マイクロメートルのトレース幅を有し、
前記第１及び第２の基材の導電体微小パターンが互いに電気的に絶縁されている、タッチスクリーンセンサー。
【請求項５】
前記第１の基材と前記第２の基材との間に配置された光学的に透明な接着剤を更に備え、前記光学的に透明な接着剤が前記第１の基材の前記導電体微小パターン及び前記第２の基材の前記第２の表面と直接接触する、請求項４に記載のタッチスクリーンセンサー。